

令和6年度

授 業 実 施 計 画

(令和4年度入学生)

札幌歯科学院専門学校

歯科衛生士科

【科目名】 保健生態学Ⅲ

【年次・開講期】 3年次 前期

【時 間】 16時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 保健衛生学分野
講師 水谷 博幸 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士国家試験の出題基準に応じた、歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組みに関する知識の整理を行う。

【到達目標】

- ・歯・口腔の発生と成長発育について説明できる。
- ・歯と口腔環境について説明できる。
- ・歯・口腔付着物、沈着物について説明できる。
- ・口腔清掃具、ブラッシング法、歯磨剤などについて説明できる。
- ・う蝕の予防法を説明できる。
- ・歯周病の予防を説明できる。
- ・その他の歯科疾患の予防について説明できる。
- ・地域歯科保健活動について説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 保健生態学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
歯科衛生士テキスト『口腔衛生学』第2版 学健書院

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1	1. 口腔衛生学総論 2. 口腔清掃	国家試験対策 問題プリント活用 歯・口腔の機能 歯・口腔の付着物、沈着物 ブラッシング法 歯磨剤の種類と効用 補助清掃具	竹原 順次
2	3. う蝕の予防 4. 歯周病の予防	国家試験対策 問題プリント活用 う蝕の成り立ち う蝕予防法 歯周病の原因・リスク 歯周病予防	竹原 順次
3	5. その他の疾患の予防 6. う蝕の疫学 7. 歯周疾患の疫学	国家試験対策 問題プリント活用 口臭の原因と予防 不正咬合の原因と予防 う蝕の疫学 歯周疾患の疫学	竹原 順次
4	8.地域歯科保健指導	国家試験対策 問題プリント活用 健康目標 各ライフステージ別の指導 集団指導の方法	竹原 順次

【科目名】 保健情報統計学

【年次・開講期】 3年次 後期

【時 間】 20時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 予防歯科学教室
助教 竹原 順次 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科疾患の疫学的特徴が歯科保健指導に応用でき、疾患の予防に役立つことを理解する。
また、疫学的特徴を表すために必要な歯科疾患の指数の意味、応用法の基本を理解する。

【到達目標】

- ・疫学の目的を説明できる。
- ・調査方法を分類し、説明できる。
- ・研究方法の分類が分かる
- ・歯科疾患の指標を列記できる。
- ・う蝕の指標を説明できる。
- ・歯周疾患の指標を説明できる。
- ・口腔清掃状態の指標を説明できる。
- ・保健情報の収集方法が分かる。
- ・基本統計の値が分かる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み3保険情報統計学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1	1章 保険情報と保健統計 (1) 保健情報とは (2) 保健統計とは (3) 保健情報の種類 (4) 国家統計調査	データと除法、保健情報 統計へのスタンス、保健統計学の目標 基礎と臨床との違い、EBMとは、EBMの手順 統計法と統計報告調査法、口腔保健に関連の有る国家統計 学校保健統計	
2	2章 保健情報と疫学 (1) 疫学総論 (2) 健康障害の発生要因 (3) 疫学の方法論 (4) スクリーニング	疫学とは何か、 疫学における暴露、要因論、多要因原因説、疾病の原因と結果の関係 調査方法の分類、有病と罹患、疫学研究方法の分類、観察疫学、介入疫学 疾病と検査の関係	
3	3章 歯科疾患の指標 (1) 数量化と指数 (2) う蝕の指数 (3) 歯周疾患の指数 (4) 口腔清掃状態の指数 (5) その他の指数	数量化、指標と指数 う蝕の特徴、う蝕の診断基準、う蝕の表現方法、 歯周疾患の評価の条件、全部診査法と部分診査法、PMA、GI、PI、PDI、 GbCount、GPI、CPI OHI,PHP、Pl-I、PCR、 CFI, DAI	

回	授業項目	授業内容	担当者
4	4章 保健情報の分析手順 (1) 情報の収集 (2) 疫学調査の進め方 5章 保健統計の方法 (1) データのまとめ方 1) データの尺度 2) データの集計 3) 基本統計量 4) 度数分布 5) 単純集計, クロス集計	有病率、罹患率、発生率、有病率と発生率の関係 データの尺度、集計、度数分布、単純集計、クロス集計 名義・順序・間隔・比率尺度 集計方法 代表値, ばらつき 度数分布表, 度数分布図 定義, 集計例	
5	6章 保健情報の分析演習 (1) データの分析法 1) 相関 2) 推定 3) 検定 4) 検定結果の解釈 7章 情報の保護と倫理	相関、推定と検定、検定結果の解釈 定義, 相関係数 推定とは、母平均の推定 標本平均の差の検定(t検定), カイ二乗検定	

【科目名】 医療倫理学

【年次・開講期】 3年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校
学院長 尾崎 勝巳 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 信頼される医療人としての基本を身に付け、実践につなげる。

- 【到達目標】
- ・医療従事者の基本的義務を理解する。
 - ・患者中心の医療、歯科衛生士の社会的使命を理解する。
 - ・歯科医療従事者の職業倫理に関する規範について概説できる。
 - ・患者の権利について概説できる。
 - ・人を対象とする医学研究の倫理について概説できる。
 - ・バイエシックスとは何かについて概説できる。
 - ・インフォームド・コンセント、インフォームド・チョイスについて概説できる。
 - ・セカンド・オピニオンについて説明できる。
 - ・研究と医療倫理のかかわりについて説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	なぜ医療倫理を学ぶのか	・伝統的な医の倫理から新しい医の倫理へ／医療従事者の基本的義務／患者中心の医療／歯科医療に関する権利と義務、および歯科衛生士の社会的使命	尾崎 勝巳
2	医療倫理に関する規範とバイエシックス	・医の倫理に関する規範および国際規範／バイエシックス(生命倫理学)	尾崎 勝巳
3	インフォームド・コンセント①	・インフォームド・コンセントとは何か／インフォームド・コンセントの実際①	尾崎 勝巳
4	インフォームド・コンセント②	・インフォームド・コンセントの実際②／インフォームド・コンセントと患者中心の医療	尾崎 勝巳
5	研究と医療倫理	・なぜ、研究で医療倫理が必要なのか。 ・倫理的配慮の要件 ・研究への依頼協力	尾崎 勝巳
6	歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動	・医療現場における人の行動／患者の行動 ・歯科医療従事者の行動 ・他職種連携コミュニケーション	尾崎 勝巳
7	その他歯科医療従事者に必要とされること	・患者の個人情報の取り扱いについて／著作権について／医療従事者個人名をあげた臨床での問題について／臨床実習での身だしなみの意義について	尾崎 勝巳
8	医療倫理に関連する規範と法令	・歯科衛生士の職業倫理に関する規範／歯科衛生士の法的義務	尾崎 勝巳

【科目名】 歯科予防処置Ⅲ

【年次・開講期】 3年次 前期・後期

【時間】 44時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 マネキン実習で身につけた基礎技術を活かし、症例に合った的確な操作を実施する。

【到達目標】

- ・歯科治療における偶発事故の原因、予防、対策、対処方法を理解できる。
- ・称、構造について基本的取り扱い方法を理解できる。
- ・術者、患者のポジションを理解し、部位に合わせ設定できる。
- ・模型上で正しいスクレーリングができる。
- ・シャープニングの目的や砥石の種類を把握し、スクレーラーのシャープニング方法を身につける。
- ・プロービングの目的、種類、測定方法、測定結果の記入方法を理解し、プロービング値を正確に読み取ることができる。

- ・歯面研磨の目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・PMTCの目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・歯面清掃器の目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・超音波スクレーラー、エアスクレーラーの特徴を理解し、正しい角度とストロークで操作できる。
- ・模型上での基礎実習を活かし、実際の口腔内で予防処置を行うことができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	口腔内・歯、歯周組織の構造	・歯、歯周組織の構造 ・口腔内の付着物 ・健康な歯肉、病的な歯肉	飯塚 貴子
2	歯面清掃①	・PMTCの目的 ・PMTCの使用機材と使用方法	飯塚 貴子
3	相互実習 I	・PMTC相互実習	飯塚 貴子
4	スクレーラー操作実習①	シッケルスクレーラー基本訓練	飯塚 貴子
5	スクレーラー操作実習②	キュレットスクレーラー基本訓練	飯塚 貴子

回	授業項目	授業内容	担当者
6	シャープニング①	シッケルスケーラー(H5・33)(204S)	飯塚 貴子
7	シャープニング②	キュレットスケーラー(5・6)(13・14)	飯塚 貴子
8	スケーラー操作実習③	超音波スケーラー基本訓練	飯塚 貴子
9	知識整理①	プロービング・スケーリング・歯面研磨のマネキン訓練	飯塚 貴子
10	知識整理②	プロービング・スケーリング・歯面研磨 相互実習	飯塚 貴子
11	知識整理③	歯面清掃(エアフロー)のマネキン訓練	飯塚 貴子
12	知識整理④	歯面清掃(エアフロー)相互実習	飯塚 貴子
13	知識整理⑤	口腔・硬組織・歯周組織 口腔内の付着物	飯塚 貴子
14	知識整理⑥	スケーリング 歯面研磨・歯面清掃 シャープニング	飯塚 貴子

【科目名】 齲蝕予防処置Ⅱ

【年次・開講期】 3年次 前・後期

【時 間】 40時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士に必要な、齲蝕予防処置の専門的な知識と技能を身に付ける

【到達目標】

- ・齲蝕発生のメカニズムについて説明できる。
- ・フッ化物の齲蝕予防機序を説明できる。
- ・フッ化物局所応用の手順を理解できる。
- ・フッ化物応用における小児の急性中毒量を計算できる。
- ・齲蝕活動性試験を列挙できる。
- ・齲蝕活動性試験を説明できる。
- ・小窩裂溝填塞法の適応症を説明できる。
- ・小窩裂溝填塞法の手順を理解できる。

【教科書】 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法第2版 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
1	齲蝕の知識 フッ化物応用の基礎知識	プラークのなりたちと齲蝕 歯およびエナメル質表層の知識 フッ化物応用の種類 フッ化物の中毒、悪心・嘔吐発現量	溝口 範子
2	フッ化物局所応用法①	フッ化物局所応用法に用いられるフッ化物とその特徴 2%フッ化ナトリウム作成実習 フッ化物溶液の味の確認	飯塚 貴子
3	フッ化物局所応用法②	綿球・綿棒に含まれる溶液量 綿球中のフッ素量の確認 イオントレーに含まれる溶液量の確認	飯塚 貴子
4	フッ化物局所応用法③	フッ化物局所応用法相互実習	飯塚 貴子
5	小窩裂溝填塞法①	小窩裂溝填塞法の基礎知識 小窩裂溝填塞法マネキン訓練	飯塚 貴子
6	小窩裂溝填塞法②	小窩裂溝填塞法相互実習	飯塚 貴子
7	齲蝕活動性試験①	齲蝕活動性試験の基礎知識	溝口 範子
8	齲蝕活動性試験②	齲蝕活動性試験の実際	溝口 範子

【科目名】 歯科保健指導Ⅲ

【年次・開講期】 3年次 前期・後期

【時間】 44時間

【単位】 1単位

【担当講師】 岩寺小児歯科医院

院長 岩寺 環司 歯科医師実務経験あり

札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科

専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり

専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり

専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり

専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科保健指導の意義と内容を理解し、それぞれの症例に必要な実技とコミュニケーション能力を習得していく。

- 【到達目標】
- ・口腔内の状態を正確に観察することができる。
 - ・患者から得た情報をもとに、問題点を抽出、把握することができる。
 - ・患者の状況を分析し、歯科衛生介入ができる。
 - ・歯科衛生介入について、業務記録に記録できる。
 - ・配慮を要する者への歯科衛生介入を行うことができる。
 - ・小児の口腔保健管理について理解する。
 - ・小児への歯科衛生介入を理解する。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」

(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 「新歯ブラシ事典」 医歯薬出版株式会社

「歯磨剤の科学」 日本歯磨工業会

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	臨床における歯科衛生活動	小児歯科診療室における、母親教室 ・飲食品の砂糖含有量、フッ素の効果、 ・歯ブラシの硬さと歯磨きのタイミング	岩寺 環司
2	口腔内の情報収集	相互歯科健診	溝口 範子
3	歯科保健指導法①	模擬患者実習①(歯科技工士科2年) ・口腔内観察 ・ブラッシング指導	溝口 範子
4	歯科保健指導法②	模擬患者実習②(歯科技工士科1年) ・口腔内観察 ・ブラッシング指導	溝口 範子
5	歯科保健指導法③	模擬患者実習③(歯科衛生士科1年) ・口腔内観察 ・ブラッシング指導	溝口 範子
6	症例検討・ 歯科保健指導法①	・歯科保健指導とは ・問題点の発見、把握	溝口 範子
7	症例検討・ 歯科保健指導法②	・指導案の立案 ・指導媒体の作成	溝口 範子

回	受業項目	授業内容	担当者
8	症例検討・ 歯科保健指導法③	・指導媒体の作成	溝口 範子
9	業務記録実習①	・業務記録の意義と記入方法について	市川 智恵
10	業務記録実習②	・口腔内写真撮影記録(正面観、側方観、咬合面観)	市川 智恵
11	術者磨き	・術者によるブラッシング	飯塚 貴子
12	配慮を要する者への 歯科保健指導	・障がい児の一般的特徴 ・障がい児の口腔の特徴 ・障がい児の歯科衛生介入	土門 京子
13	小集団指導法実習	・小集団に対する指導法について ・障がい児施設巡回実習準備	土門 京子

【科目名】 歯科診療補助Ⅲ

【年次・開講期】 3年次 前期・後期

【時間】 44時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 岩越 帆乃香 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 伊勢谷 亜美 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 佐藤 とも子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科診療補助は社会的情勢や歯科医療の高度化にともなって歯科衛生士としての専門性を多く発揮できる領域であるため、歯科衛生士の役割を理解し、歯科材料や歯科器械の取り扱い共同動作において、技術を身に着ける。

【到達目標】

- ・歯科医療における医療安全と感染予防の概念を理解できる。
- ・偶発事故や緊急時の対応を選択することができる。
- ・歯科領域に必要な臨床検査の目的と役割を理解できる。
- ・歯科診療室で用いられる薬物について知識を理解できる。
- ・器具の滅菌・消毒の利点・欠点・特徴について学ぶことができる。
- ・歯科臨床における治療の特徴を説明できる。
- ・歯科診療の手順に沿った器材の準備と補助ができる。
- ・歯科診療で扱う歯科材料の特徴・用途の説明と取り扱いができる。
- ・主な全身疾患とその対応について理解ができる。
- ・様々な全身疾患と口腔所見の特徴を知り、診療での注意点を説明できる。
- ・周術期における航空機能管理の概要を述べることができる。
- ・手術における術前、術中、術後の歯科衛生士の対応を説明できる。
- ・歯科訪問診療の概要を述べることができる。
- ・共同操作について相互実習をとおして実践する。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版
歯科衛生士教本「歯科材料」
新人歯科衛生士・デンタルスタッフポケットマニュアル
最新歯科衛生士教本「歯・歯髄疾患 保存修復学・歯内療法学」
最新歯科衛生士教本「咀嚼異常・咬合異常Ⅰ 歯科補綴学」
最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」第2版
最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常Ⅱ 歯科矯正」
最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科学・歯科麻酔学」
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 資料プリント

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	・総論	・歯科診療補助の概要 ・歯科衛生士とは	岩越 帆乃香
2	・医療安全と感染予防	・医療安全の概念 ・インシデント/アクシデント報告の目的	飯塚 貴子
3	・医療安全と感染予防	・スタンダードプレコーション ・感染経路別予防策 ・歯科用器材の感染対策分類	飯塚 貴子
4	・医療安全と感染予防	・手指消毒 ・消毒と滅菌	飯塚 貴子
5	・医療安全と感染予防	・消毒剤の理解 ・医療廃棄物の取り扱い	飯塚 貴子
6	・歯科領域の臨床検査	・臨床検査の補助の目的と役割 ・検査の種類の説明・実施 ・画像検査の理解	土門 京子
7	・消毒・滅菌	・滅菌・消毒と管理法	飯塚 貴子
8	・歯科臨床と診療の補助	・保存修復・歯内療法	土門 京子
9	・歯科臨床と診療の補助	・歯周外科治療	飯塚 貴子
10	・歯科臨床と診療の補助	・歯科補綴治療	佐藤 とも子
11	・歯科臨床と診療の補助	・口腔外科・麻酔	佐藤 とも子
12	・歯科臨床と診療の補助	・歯科矯正治療	土門 京子
13	・歯科臨床と診療の補助	・小児歯科治療と対応	土門 京子
14	・模型材料	・模型作製	土門 京子
15	・模型材料	・模型作製	土門 京子
16	・寒天印象材	・寒天印象材の知識と取り扱い	土門 京子
17	・合成ゴム質印象材	・ゴム質印象の種類と特徴の理解	土門 京子
18	・合成ゴム質印象材	・1回法、2回法の実際	土門 京子
19	・その他印象材の取り扱い	・モデリングコンパウンド ・酸化亜鉛ユージノール印象材	土門 京子
20	保存材料 ・合着材・接着	・ガラスアイオノマーセメント・カルボキシレートセメント ・リン酸亜鉛セメント	土門 京子
21	保存材料 ・合着材・接着	・ガラスアイオノマーセメント・カルボキシレートセメント ・リン酸亜鉛セメント	土門 京子
22	保存材料 ・合着材・接着	・接着性レジンセメントセメント	土門 京子
23	・仮着材	・仮着材の性質と取扱い方法を知り実践する	土門 京子
24	・仮封材	・仮封材の性質と取扱い方法を知り実践する	土門 京子
25	・仮封材	・仮封材の性質と取扱い方法を知り実践する	土門 京子
26	・ワックス	・ワックスの性質と取扱い方法を知り実践する	土門 京子
27	共同動作 (講義)	・歯科診療所における共同動作の目的を知る	岩越 帆乃香
28	共同動作 ・患者誘導・ライティング	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する	岩越 帆乃香
29	共同動作 ・器具受け渡し	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する ・患者誘導の留意点を知り、実践する	佐藤 とも子
30	共同動作 ・口腔内洗浄・バキューム	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する ・患者誘導の留意点を知り、実践する	佐藤 とも子

回	授業項目	授業内容	担当者
31	全身疾患とその対応	・主な全身疾患の基礎知識 ・診療上での注意点	岩越 帆乃香
32	全身疾患とその対応	・主な全身疾患の基礎知識 ・診療上での注意点	岩越 帆乃香
33	全身疾患とその対応	・主な全身疾患の基礎知識 ・診療上での注意点	岩越 帆乃香
34	周術期における 歯科診療の補助	・周術期における口腔機能管理の概要・病態・治療法	岩越 帆乃香
35	周術期における 歯科診療の補助	・周術期における口腔機能管理の概要・病態・治療法	岩越 帆乃香
36	ゴム質印象材	・ゴム質印象材の性質と取扱い方法を習得する	土門 京子
37	ゴム質印象材	・ゴム質印象材の性質と取扱い方法を習得する ・マネキン印象	土門 京子
38	歯科訪問診療における対応	・歯科訪問診療の概要	土門 京子
39	歯科訪問診療における対応 安全管理	・歯科訪問診療の流れと患者対応 ・安全管理対策	土門 京子
40 ↳ 45	相互実習	・共同操作について相互実習をとおして実践する ・寒天印象材とアルジネート印象材を使用した連合印象	佐藤 とも子

【科目名】 臨地・臨床実習

【年次・開講期】 1年次・2年次・3年次 前・後期

【時 間】 945時間

【単 位】 20単位(1年次:1単位、2年次:9単位、3年次:10単位)

【担当講師】 協力歯科医師・歯科衛生士等 実務経験あり

【授業概要】 既習の歯科衛生士業務を実践と結びつけながら、実践能力を養うため、歯科臨床等の場をとおして歯科衛生士としての必要な知識、技能を学ぶ。

【到達目標】

- ・医療人としての身だしなみを整える。
- ・患者に対していたわりを持って接する。
- ・プライバシー、診療室の規則を厳守する。
- ・診療室の環境整理ができる。
- ・自己の健康管理ができる。
- ・対象者、状況に応じた挨拶、返事、対応ができる。
- ・チーム医療の中での歯科衛生士の位置づけを理解し行動する。
- ・指示されたことに正確に対応し報告する。
- ・医療スタッフの技能・態度に対して敬意を表し、良好な関係を築く。
- ・医療安全管理に配慮した行動をとる。
- ・器材・機器および薬品の管理の方法を理解し、それに応じた行動をとる。
- ・患者のデータ資料の管理方法を理解し、それに応じた行動をとる。
- ・歯科治療の術式がわかる。
- ・歯科用器具の用途、使用法を述べる。
- ・器材、器具の準備、後始末ができる。
- ・スムーズな誘導ができる。
- ・有病者の病態がわかる。
- ・歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導について理解を深める。

【評価方法】 実習先医院からの評価100%

【科目名】 医療保険事務

【年次・開講期】 3年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科医師会
理事 中尾 忠篤 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 保険診療に関する基礎的な知識を習得するとともに、保険請求に伴うカルテ記載、レセプト記載ならびに電子請求に伴うPC入力方法等について保険療養担当規則に則った診療報酬業務を習得する。

【到達目標】

- ・社会保障制度について理解できる。
- ・医療保険の種類について理解できる。
- ・カルテの記載について理解できる。
- ・診療報酬明細の記載について理解できる。
- ・電子媒体請求のPC入力を理解できる。
- ・電子媒体による請求方法を理解できる。

【教科書】 「歯科保健請求マニュアル」令和4年度版 医歯薬出版株式会社

【参考書】

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・演習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1 ・ 2	社会保険請求事務業務 総論	・社会保険 ・医療保険 ・診療報酬 ・歯科医療の法律、指導・監査 ・指導・監査 ・カルテ記載	中尾 忠篤
3 ・ 4	社会保険請求事務業務 各論	・症例カルテ記載 ・手書きレセプト記載 ・診療報酬請求明細記載 ・総括表記載	中尾 忠篤
5	社会保険請求事務業務 各論	・電子媒体請求のPC入力 ・電子媒体による請求方法	中尾 忠篤

【科目名】 訪問歯科

【年次・開講期】 2年次 後期

【時間】 28時間

【単位】 1単位

【担当講師】 東苗穂にじいろ歯科クリニック
歯科医師 島袋智弘 歯科医師実務経験あり
歯科医師 赤沼正康 歯科医師実務経験あり
歯科衛生士 佐藤 さと子 歯科衛生士実務経験あり
夕張市立診療所 八田 政浩 歯科医師実務経験あり
言語聴覚士 坂本真一 言語聴覚士実務経験あり

【授業概要】 超高齢社会を迎え、歯科医療を取り巻く環境は大きく変化している。地域の口腔保健活動に携わるうえで保険・医療・介護・福祉の仕組みやシステムについて理解する必要がある。また多くの高齢者は基礎疾患を有することが多く、身体的・精神的な特徴を把握し歯科医療に従事できる基本的な知識を取得する。

【到達目標】 ・高齢者の全身的・精神的特徴を説明できる。
・高齢者にかかわる法制度および介護保険制度の概要を説明できる。
・有病高齢者や要介護高齢者への口腔ケアについて理解する。
・摂食嚥下リハビリテーションの概要を理解し説明できる。
・在宅医療制度および在宅訪問診療の概要を説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科(社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助(社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 「老年歯科医学」 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	訪問歯科、高齢者歯科とは	・高齢者をとりまく社会と環境	島袋 智弘
2	加齢による身体的、精神的変化と疾患	・加齢に伴う身体的、精神的変化	島袋 智弘
3	高齢者の全身状態の把握	・高齢者に多い全身疾患 ・高齢者の生活機能の評価	赤沼 正康
4	高齢者の全身状態の把握	・高齢者歯科と臨床検査 ・高齢者の栄養状態、薬剤服用	赤沼 正康
5	訪問歯科、高齢者歯科とは	・高齢者の居住形態、施設および入院設備の特徴	八田 政浩

回	授業項目	授業内容	担当者
6	高齢者に関わる医療と介護	・在宅訪問診療の概要	坂本 真一
7	摂食嚥下リハビリテーション	・摂食嚥下リハビリテーションについて	坂本 真一
8	口腔のケア	・高齢者に対する口腔のケア ・有病高齢者への口腔のケア	佐藤 さと子
9	訪問看護と歯科の役割	・在宅医療における訪問看護のステーションの位置づけ ・在宅医療における訪問看護と歯科医療の連携	佐藤 さと子
10	訪問介護と歯科の役割	・訪問介護と歯科衛生士 ・かかりつけ歯科の役割	佐藤 さと子
11	訪問歯科の実際	・歯科衛生過程と事例 ・歯科衛生過程の考え方	佐藤 さと子
12	訪問歯科の実際	・訪問歯科の実際、歯科衛生士の役割	佐藤 さと子
13 ・ 14	訪問歯科の実際 ・ 実習	・訪問歯科の実際、歯科衛生士の役割 ・口腔ケア 相互実習	佐藤 さと子

【科目名】 インプラントワーク

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野
教授 越智 守生 歯科医師実務経験あり
准教授 廣瀬 由紀人 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 口腔インプラント治療は、喪失した歯根の代わりに人工歯根を顎骨内に埋入し、これを土台として上部構造(人工的な歯)を支え、機能的、形態的、審美的に回復をはかることを目的とする。口腔インプラントのための基礎科学、コンサルテーション、治療計画の立案、外科手術ならびに補綴術式、メンテナンス、口腔インプラントの歴史的背景と将来展望について学習する。口腔インプラント治療における歯科医師と歯科衛生士の連携を学び、歯科衛生士の果たすべき役割とその重要性について理解する。

- 【到達目標】
- ・骨内インプラントシステムを説明できる。
 - ・口腔インプラントの構造について説明できる。
 - ・口腔インプラント治療の利点と欠点が説明できる。
 - ・口腔インプラント治療の適応症と禁忌症を説明できる。
 - ・口腔インプラント治療の流れが説明できる。
 - ・口腔インプラント治療における検査項目を理解する。
 - ・口腔インプラント治療における治療計画の内容について理解する。
 - ・口腔インプラント治療におけるインフォームドコンセントを理解する。
 - ・一次手術と二次手術の内容が説明できる。
 - ・ピックアップ印象法とトランスファー印象法の違いが説明できる。
 - ・上部構造の種類とその特徴について説明できる。
 - ・口腔インプラント治療でのメンテナンスの内容とその重要性が説明できる。
 - ・口腔インプラント治療での偶発事故の内容について理解する。
 - ・骨造成手術、軟組織のマネージメント、低侵襲性治療について理解する。

【教科書】 「歯科補綴学」(新・歯科衛生士教育マニュアル) クインテッセンス出版株式会社

【参考書】 歯科衛生学シリーズ 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴
(一社)全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・小テスト

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	・口腔インプラント学序説 ・インプラント治療の実際(1) ・インプラントの基礎知識(1)	① 欠損補綴におけるインプラント治療の位置づけを理解する。 ② インプラント治療の流れの概要を把握する。 ③ インプラントシステムの変遷を理解する。 ④ インプラントの基本構造を理解する。 ⑤ インプラントと天然歯の共通点と相違点を理解する。	越智守生
2	・インプラントの基礎知識(2)	① 口腔インプラント治療のための基礎科学の要点を理解する。 (特にインプラント材料ならびにインプラント体の表面性状) ② インプラント周囲疾患の原因、病態、対処方法を理解する。	廣瀬由紀人

回	授業項目	授業内容	担当者
3	・インプラント治療の実際(2) ・検査、診断(1) ・	①「インプラント治療の流れ」についての復習 ② インプラント治療の利点と欠点が説明できる。 ③ インプラント治療における全身的・局所的検査と画像検査を理解する。	越智守生
4	・インプラントの基礎知識(3) ・検査、診断(2) ・治療計画の立案 ・インフォームドコンセント	①「口腔インプラントのための基礎科学」についての復習 ②「インプラント治療における検査、診断」についての補足解説 ③ 治療計画の立案について、その要点を理解する。 ④「インプラントにおけるコンサルテーション」を学ぶ。 ⑤ インフォームドコンセントの概念を理解する。	廣瀬由紀人
5	・インプラント手術(1)	① 術前の患者指導とPMTCができる。 ② 手術準備、手指消毒、術衣の装着、ドレーピングができる。 ③ 一次ならびに二次手術の内容を理解し、手術の補助ができる。	越智守生
6	・インプラント手術(2)	①「手術準備、手指消毒、術衣の装着、ドレーピング」についての復習 ② 手術後の後片付けと患者対応ができる。 ③ 免荷期間、即時負荷について理解する。 ④ 一次手術と二次手術の違いが説明できる(復習)。	廣瀬由紀人
7	・インプラントの印象採得 ・上部構造	① 上部構造の種類を説明できる。 ② インプラントの補綴術式を理解する(特に印象採得)。 ③ 固定性上部構造と可撤性上部構造の特徴を理解する。 ④ スクリュー固定式とセメント固定式の特徴を理解する。	越智守生
8	・メンテナンス(1)	① リコールについて説明できる。 ② メンテナンス時の要観察・確認事項を理解する。 ③ インプラント治療での偶発事故の内容について理解する。	廣瀬由紀人
9	・メンテナンス(2)	① プラークコントロールと患者指導ができる。 ② 累積防衛的メンテナンス療法を理解する。 ③ 骨造成手術、軟組織のマネージメント、低侵襲性治療について理解する。 ④「インプラント補綴治療(第7回)」についての復習	越智守生
10	・総括	① インプラント臨床における歯科衛生士の役割についての総括 ② 口腔インプラントの歴史的背景と将来展望について学ぶ。 ③ 試験対策	廣瀬由紀人

【科目名】 歯科衛生士業務Ⅰ

【年次・開講期】 2年次 前期・後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 FC24 DENTAL STORE 歯科衛生士 吉川 早紀 実務経験あり
 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
 専任教員 伊勢谷亜美 歯科衛生士実務経験あり
 専任教員 岩越帆乃香 歯科衛生士実務経験あり
 専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 臨床実習にむけ、より臨床に即した実践内容について学ぶ。
 主要三科目の枠を超えた歯科衛生士業務について学習および演習を行う。

【到達目標】 ・歯科健康診断時の手順が説明できる。
 ・口腔内観察時に歯式の記録ができる。
 ・基本的な歯科治療の流れが説明できる。
 ・インプラントの治療手順が説明できる。
 ・術衣、滅菌グローブの正しい着脱ができる。
 ・インプラント周囲疾患の説明ができる。

【教科書】 (シリーズ)「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
 (シリーズ)「歯科診療補助論」
 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版
 新人歯科衛生士・デンタルスタッフ「ポケットマニュアル」 医歯薬出版
 新・歯科衛生士マニュアル 歯科補綴学 クインテッセンス出版株式会社

【参考書】 配布プリント

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・演習・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1・2	歯科健診	歯科健診	伊勢谷 亜美
3・4	口腔内写真撮影実習12	・正面観撮影 ・側方観撮影 ・咬合面観撮影 ・口腔内写真撮影のまとめ	溝口 範子
5	インプラント基礎知識 術前準備に伴う知識①	・インプラントの歴史、基本構造 ・インプラント治療の流れ ・術前準備について、手術時手洗い	吉川 早紀
6	術前準備の伴う知識② 手術時、術後管理の知識	・个人防护衣について ・当日、術中の流れ、アシスタントワーク ・術後の流れ	吉川 早紀
7	インプラント補綴知識 メンテナンスについて	・インプラント補綴の流れ ・インプラントメンテナンス ・インプラント周囲疾患について	吉川 早紀
8	アシスタント業務に必要な 基本技術と知識	・歯科治療の流れ	岩越 帆乃香
9・10	保育園実習媒体活用法1	・保育園における歯科検診について ・保育園児に対する集団指導法	伊勢谷 亜美

【科目名】 歯科衛生士業務

【年次・開講期】 3年次 前・後期

【時間】 38時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科医師会 会員 鈴木淳一 歯科医師実務経験あり
独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター 江戸美奈子 歯科衛生士実務経験あり
札幌歯科学院専門学校 専任教員 土門京子 歯科衛生士実務経験あり
札幌歯科学院専門学校 専任教員 飯塚貴子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士の専門性を生かしう蝕や歯周病の予防をとおして口腔機能管理を行う上で必要な知識、技術を統合し、EBMに基づき予防のスペシャリストとしての歯科衛生士の役割を学ぶ。医科と歯科とが連携し、それぞれの専門職が協同するチーム医療が求められており、周術期における口腔機能管理の概要を学び歯科衛生士としてのかかわりを学ぶ。審美歯科のホワイトニングの概要、術式、メンテナンスについて学ぶ。

【到達目標】

- ・齲蝕発生のメカニズムを説明できる。
- ・齲蝕予防の概要を説明できる。
- ・齲蝕予防の方法を理解する。
- ・歯周病発生のメカニズムを説明できる。
- ・歯周病予防の概要を説明できる。
- ・歯周病予防の方法を理解する。
- ・がんとがん治療に関する一般的な知識を習得する。
- ・がん患者の身体的、精神的病態を理解する。
- ・周術期における口腔機能管理の概要を理解する。
- ・全身麻酔手術におけるリスクや合併症を理解する。
- ・がん薬物療法、頭頸部放射線療法における副作用と口腔ケアの重要性を理解する。
- ・周術期の歯科治療への対応を理解する。
- ・周術期における歯科衛生士の役割を理解する。
- ・ホワイトニングの基礎知識を理解する。
- ・ホワイトニングの術式を理解する。
- ・ホワイトニング実施後のケアについて理解する。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第1版
最新歯科衛生士教本「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」
最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
歯科衛生士のための齲蝕予防処置法第2版 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 後期試験にて評価をする。各担当者が担当分野より出題し総合評価をする。

【授業方法】 講義・演習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	う蝕と歯周病を予防する	総論 ・齶蝕予防、歯周病予防とは ・齶蝕予防、歯周病予防における歯科衛生士の役割	鈴木 淳一
2	う蝕と歯周病を予防する	各論 ・歯、および唾液とフッ化物応用の知識 ・齶蝕活動性試験 ・齶蝕抑制効果の評価およびスクリーニング手法 ・歯周病に関連する検査 ・プラークコントロール	鈴木 淳一
3	う蝕と歯周病を予防する	臨床編 ・フッ化物局所応用法 ・小窩裂溝填塞法 ・プロフェッショナルケアとホームケア	鈴木 淳一
4	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	がんの基礎知識・治療法 がん患者の全身状態と評価	江戸美奈子
5	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	周術期における口腔機能管理① がん手術と口腔ケア	江戸美奈子
6	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	周術期における口腔機能管理② がん薬物療法、頭頸部放射線療法と口腔ケア	江戸美奈子
7	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	周術期の歯科治療への対応 専門的口腔衛生処置の実際	江戸美奈子
8	ホワイトニングの概要	ホワイトニングの基礎知識	飯塚 貴子
9	ホワイトニングの実際①	ホワイトニング用 模型作成	飯塚 貴子
10	ホワイトニングの実際②	ホワイトニング用 マウストレー作成	飯塚 貴子
11	ホワイトニングの実際③	ホワイトニング用 模型作成	飯塚 貴子
12	ホワイトニングの実際④	ホワイトニングの実施(ホームホワイトニング)	飯塚 貴子

【科目名】 総合学習

【年次・開講期】 3年次 後期

【時間】 60時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系 咬合再建補綴学
越野 寿 歯科医師実務経験あり

札幌歯科学院専門学校 歯科衛生科

専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり

専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり

専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり

専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり

専任教員 岩越 帆乃香 歯科衛生士実務経験あり

専任教員 伊勢谷 亜美 歯科衛生士実務経験あり

専任教員 佐藤 とも子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 基礎医学、臨床医学のポイントをまとめ、歯科衛生士に必要な知識を習得する。

【到達目標】

- ・出願判定試験に合格する。
- ・障がい者歯科について習熟する。
- ・災害時の歯科衛生士の役割を理解する。
- ・公衆衛生について習熟する。
- ・微生物について習熟する。
- ・歯科補綴学について習熟する。
- ・高齢者歯科について習熟する。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1「病理学・口腔病理学」
最新歯科衛生士教本 「保健生態学」
最新歯科衛生士教本 「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」
最新歯科衛生士教本 「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」
最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能1「解剖学・組織発生学・生理学」
最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2「微生物学」
最新歯科衛生士教本 「障害者歯科」第2版
最新歯科衛生士教本 「高齢者歯科」第2版
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
歯科衛生士のための齲蝕予防処置法第2版 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・模擬試験

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	模擬試験	医歯薬出版 前年度全国第1回模擬試験実施	飯塚 貴子
2	模擬試験	医歯薬出版 新校内模擬試験⑤実施	土門 京子
3	模擬試験	医歯薬出版 全国第1回模擬試験 AM 実施	飯塚 貴子
4	模擬試験	医歯薬出版 全国第1回模擬試験 PM 実施	土門 京子
5	高齢者歯科・障がい者歯科	模擬試験の解説	土門 京子
6	模擬試験	医歯薬出版 新校内模擬試験①実施	岩越帆乃香

回	授業項目	授業内容	担当者
7	模擬試験	医歯薬出版 新校内模擬試験②実施	溝口 範子
8	模擬試験	医歯薬出版 前年度全国第2回模擬試験実施	岩越帆乃香
9	災害時の歯科保健	災害時の歯科衛生士の役割	越野 寿
10	歯科補綴学・歯科保健指導	模擬試験の解説	佐藤 とも子
11	病理学・口腔外科学	模擬試験の解説	伊勢谷 亜美
12	微生物・口腔衛生	模擬試験の解説	溝口 範子
13	う蝕予防処置Ⅱ	模擬試験の解説	飯塚 貴子
14	口腔解剖・生理学	模擬試験の解説	市川 智恵